



(写真提供 新津市 鷲津誠也さん)

# 小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-5210  
編集 公民館報編集委員会

## 1999年

### 新年あけましておめでとうございます

#### 地域に根ざした「PTA活動」を

小須戸町教育長 高橋 謙 司



新しい年を迎え、町民の皆様には益々ご健勝のことと、心からお慶び申しあげます。

保育園や幼稚園での父母の会組織と、小中学校におけるPTA組織とは、その性格に多少違いはありますが、このような組織の重要さとすばらしさについて、もう一度みんなど見直してみたいと思います。

現代は、至るところでどんどん都市化が進んできておりますが、これにつれて、今までの地域にあったいろいろな組織的な活動がだんだん退潮気味になっていきます。

従来までは、ただ同一の地域にすんでいるということだけで、その地域の人たちが大人も子どもも一緒になっていろいろな活動が自然に行われてきました。

ところが現代では、このような組織的な活動が大変むずかしくなったり、低調になったり、無くなったりしてきております。

そしてその一方で、家庭における教育機能の衰退ということが起きてきました。

このたび、県教育委員会が「子どもの心の教育における、家庭、学校、地域社会の役割」をテーマに、二十歳以上の県教育モニターを対象にして実施したアンケートの結果によりますと、子どもの心の問題では「必要な忍耐力、がまんする力が失われてきている」の回答が六三・一％と最も多く、問題行動の原因・背景については「子育てに対する親の態度が、無責任な放任や過保護の傾向にある」としたのが六三・八％、「家庭の持つ教育機能が低下している」も三七・六％と、家庭の責任を挙げる意見が大半を占めているようであり、このような家庭における教

育機能の衰退をカバーしていったらいいもの、この時に、「この「父母の会」とか「PTA」の組織が非常に重要な役割を担っていったらいいのではないかと考えます。

地域社会にはいろいろな団体やグループがありますけれども、同年代の子どもを持ち、共通の悩みをもっている人たちによる組織的な「学習団体」というのは、この組織のほかにありません。

子どもは決して一人だけで育っていくのではなく、ほかの大勢の仲間たちとの触れ合いの中で、はじめて健全に育っていきます。

ですから、自分の子どもを健全に育てていくためには、周りの子どもたちにもよく育っていつてもらわなければなりません。

少子家庭と核家族が増えていきます。

同年代の子どもをもつ親同士が、それぞれ普段の生のままの姿を通しての悩みや苦労話を語り合っていく中で、きつとご自分の子どもさんの今まで知らなかった姿に気づいたり、またはその中で、躰や育児に対する親としての自信も得られるのではないかと思っております。

この組織のもつ最も重要な意義がここにあるように思われるのです。

もう一つこの組織のすばらしさは、自ずと園や学校と地域との間のすばらしいつながり役を果たしているということであり、ですから、この組織の地域での活動いかに、地域における教育機能を立派によみがえらせていく力強い原動力にもなっていくのではないかと考えています。

そのためにこの組織の活

動は、単発的な活動だけでなく、もつと主体的な、子どもたちをも含めた、計画的・継続的な活動が是非とも必要なことではないかと痛感しております。

また、活動の実際に当たっては、けっして抽象的な議論のからまりで終わることなく、自分たちがじかに接している具体的な子どもたちの問題にふれながら進めていくことが、何よりも大切なことだと考えます。

子どもは環境の子であります。

この活動の輪が、子どもたちをとりまく地域環境の浄化とか、教育的な環境づくりにも広まっていくならば、一層この活動も意義あるものになることと思えます。

教育的環境といっても決してむずかしくとらえるのではなく、地域のいろいろな問題に対して無関心であったり、放置しておくのではなく、みんなでそれを改善していくという意欲と努力に満ちている環境、これこそが子どもにとっての何よりの教育的な環境であると考えます。

学校教育の根本は先生のあり方そのものであり、家庭環境の根本は親の生き方そのものであると同じ意味において、地域における教育的な環境の本質的な要件は、その地域における成人の生き方そのものであると考えます。

旧年中のご支援・ご協力に心から感謝を申しあげ、皆様方の今後の一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



### 公民館運営審議会

議長 山田啓一  
副議長 堀川卓

- 委員 池田忠夫、阿部哲、樋浦嘉、中野太、川瀬一、田沢恒、古田弘、本多田、八木留美子、皆川イミ子、藤田悠、小柳元、高山正、高橋勲

### 恭賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます

中央公民館長 阿達 昭 五

- 小須戸分館長 栄森靖生、矢代田分館長 平間安雄、横水分館長 野崎迪夫、新保分館長 関根勝哉

### 館報編集委員会

- 委員長 間野道英  
委員 波辺伶子、古川高志、馬場正信、吉田正信

### 図書委員会

- 委員長 内山和昭  
委員 森田義隆、村山和昭、保田科、富士子

# 家庭教育学級のクリスマス

### あすなろつ子広場

十二月十七日。ふれあい会館に於いて、クリスマスパーティーの準備がはじまりました。参加者は九名(親子三組)。講師に坂野美津子先生を迎えて調理開始です。

手際良く作っていくお母さん方を優しくアドバースしてくれる坂野先生。そのかたわらで食材のクリムをつまみながら待つ子ども達。そして完成したのはティラミスチーズケーキ。「おいしい。おいしい。」と舌鼓をうちながら皆さん笑顔で試食。ささやかなパーティーでしたが、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。



### つくしんぼ

十二月十八日。中央公民館に於いて、クリスマスパーティーを行いました。今回は「あそびの広場」と合同開催で十五組の親子が参加しました。

パーティーが始まって、しばらくすると「メリークリスマス！」サンタさんの登場。お馴染みの衣装にサンタグラス。腰には光りものの布を巻き、キザな？いでたちで子どもたち一人ひとりにプレゼントを手渡しました。



## ごみ持ちかえりのお願い

「ごみ処理有料」に伴い、中央公民館を利用される場合、使用の方からゴミを持ち帰っていただきますよう、ご協力をお願いします。

小須戸町中央公民館長

## 催し物ご案内

### ビデオカメラ入門教室

ビデオカメラをお持ちの方、基本操作と撮影技法、編集に関する知識を習ってみませんか。

日時 二月六日(土)、十三日(土)、二十日(土)、全三回

会場 中央公民館二階学習室

対象 十六歳以上の方で、町内に居住、または通勤通学している方。

持参する物 あなたが撮影されたビデオテープ

参加費 無料

定員 十五名

## ちょこっと一言

(130)

庭木の雪囲いをしてもらった。名木には縁遠い庭だけれども、その一本一本が家族には懐かしい思い出に連なっている。形見になった木も多い。松や杉、梅は父の、紫式部や海棠は義兄の、そして弘花園のおばあ様のピラカンサスやつつじも近年、良い色で楽し

### 想い出の木たち

新町一

風間 幸子さん



ませてくれている。記念樹は姑の米寿、子ども達の卒業、結婚、孫の誕生等々。親しい方々からのプレゼントも多く、まるで雑木林の有様だが、元気に伸びやかに育っている。忙しさに胸がトゲトゲしていてもゆつくり一廻りする心がうーんとやさしくなれる。今年はずいぶん少しいたわって手入れしてあげようと思

### 町民スキー教室

日時 二月二十日(土)から二十一日(日)

会場 須原スキー場

定員 二十名(小学生は保護者同伴)

参加費 大人 七、〇〇〇円

子供 六、五〇〇円

申込 二月六日(土)まで

申込先 中央公民館

電話 三三三二二三四

講師 渡辺潤晴さん(写真家)

申込先 中央公民館

電話 三三三二二三四

主催 町教育委員会・中央公民館

主管 町体育指導委員協議会

## 図書だより

### 中央公民館

天国までの百マイル 浅田 次郎

幸福の船 平岩 弓枝

屍鬼(上・下) 小野不由美

夜光虫 馳 星周

旅淫の地 坂東眞砂子

始皇帝暗殺 荒俣 宏

瓦版屋左吉綴込帳 古荘 多聞

曹操(上・下) 陳 舜臣

水の通う回路 松岡 圭祐

ちぎれ雲 由井りょう子

戦時少年ヒロシ原初の風景 亀井 宏

けもの道を抜け、平場を歩め 早坂 茂三

目の探索 辺見 庸

僕の高校中退マニユアル 稲泉 連

ふれあい会館

おのれ筑前、我敗れたり 南條 範夫

ゴールドラッシュ 柳美里

橋をかける 美智子

人生万歳 永 六輔

老人力 瀬戸内寂聴

「鬼平犯科帳」の真髓 赤瀬川原平

反常識講座 里中 哲彦

渡辺 淳一

他六冊

## ふれあい電話相談

二月の相談日

五日(金)・十二日(金)・十九日(金)・二十六日(金)

受付時間 午後一時〜五時

電話番号 三三三三三〇〇

お名前は言わなくていいです。

秘密は、固く守ります。

## VOICE & VOICES

## 私は思う VOICES

### 投稿記事募集

このコーナーでは悩んでいること、考えていること、あるいは感動したことなどを記事として投稿していただき、それぞれ皆さんで考えていただくコーナーです。

投稿記事を読んだ感想や解決事例なども合わせて募集します。ぜひご投稿ください。

### 募集要項

対象 中学生以上の一般町民

内容 学校や家庭、友達や人間関係などにおける悩み、感動したことなど。及び記事を読んだ感想や解決事例。

字数 五百〜五百二十文字

投稿方法 郵送を原則とし、一少年、一高校生、女性などの匿名で結構ですが記名も自由です。

郵送先 千九五六〇一〇一

中蒲原郡小須戸町大字

小須戸一七番地

「私は思う、私は考える」係

小須戸町中央公民館

※なお、記事の選考は公民館編集委員会でおこないます。

## シリーズ 「今、子どもたちは」 (29)

### 福祉ボランティアの活動 小須戸中学校

昨年の十月二十五日、作品展で生徒会主催のイベントとしてチャリティパーバザールを行いました。商品は生徒・先生から不要品をもつてきてもらったり、ボランティアを呼びかけてぬいぐるみ・毛糸のタワシ・廃油石鹸等を作ったりしました。ボランティアには多くの生徒が参加し、心のこもった品々ができあがりしました。当日は多くの方から購入いただき、目標金額の二万円を大きく上回りました。



売上金は夏休みの空ビン回収収益金の一部と合わせて、長座布団と毛布を購入し、「コミュニティ・デイホーム」へ寄贈しました。生徒のちょっとした思いつきから始まった今回のイベント。小須戸中学校の新しい伝統として根付いてくれることを願っています。

## 文芸欄

柳 賀状手にしばし浮き世の苦を忘れ 保科志枝  
屠蘇料理伝承物の出番です 増井都留  
一年の計にあやかる初詣で 我妻清作  
新しい年輪かさね餅を食う 藤井春江

歌 奈良阪の友と語りひ二月堂の 我妻清作  
石段上るかはたれどきを  
雨上がり雲はときおり吾が影を  
抹消するかに深くおおいぬ  
さらさらと積る初雪踏みしめて  
雪国育ちは心定めん 野俣怜子  
実を結ぶ事なき秋の茄子の花 小林芳子  
一輪手折りて厨に飾る

俳句 声あげて初冠雪を仰ぎけり 安達キヨノ  
鳴く鳥の替はるがはるに木守柿 花沢いせ子  
田に残る糠幾筋水澄めり 藤井れい  
白黒の絵画ばかりや山眠る 須藤恵美子  
宅配の地酒のとどく十二月 井本マツ子  
峰五つ数うるなら小六月 佐久間久子  
山紅葉山のくらしもたずねけり 五十嵐香月  
高きのみ陽を吸ひつくし残る柿 田中美根子  
その昔機屋ありけり藪柑子 内山越楼